

市指定文化財<古文書>

しまやにっき
嶋屋日記

指定日 昭和41年4月15日

所在地 菊池市教育委員会



嶋屋日記は当時在町だった隈府町内で、手広く商売を営む大店の主人たちが、江戸中期から幕末にかけての190年の長期間にわたって、「後用実録」になる備忘録として書き継いだ8分冊の古記録である。

- | | | |
|-------------|-----------------------|-------------|
| 1. 年々鏡 | 寛文12(1672)～安永4(1775) | 嶋屋市兵衛(岡山仙助) |
| 2. 年々鑑 | 元禄11(1698)～寛政13(1801) | 横屋九兵衛(宗伝次) |
| 3. (表題無し) | 安永5(1776)～天明元(1781) | 不明(仙助か?) |
| 4. 永代後用実録日記 | 天明2(1782)～天明5(1785) | 嶋屋市兵衛(岡山仙助) |
| 5. 永代後用実録日記 | 天明5(1785)～寛政4(1792) | 宗文五郎 |
| 6. 永代後用実録 | 寛政4(1792)～寛政9(1797) | 宗(名なし) |
| 7. 年々鑑 | 享和元(1801)～文政8(1825) | 宗専九郎(只助) |
| 8. 見聞録 | 寛政4(1792)～文久2(1862) | 中嶋三郎平(真親) |

内容は時の話題(事件・世相)、藩・手永の動静・商売・物価の推移・祭礼・文芸・天候等、広範囲かつ詳細に記述した貴重な資料である。